

様式8 : 「川づくり団体」部門

河川基金助成事業

「青少年に引き継ぐ河川教育活動」

助成番号 2021-6111-003
河川協力団体
次世代のためにがんばろ会
代表 松浦ゆかり

2021 年度

2021年 活動報告書

次世代のためにがんばる会

【活動の目的】

令和2年7月豪雨災害における多大な被害を体験した球磨川流域住民として、「水」を基本に「命を育む水」「命を支える水」「命を奪う水」を掲げ、青少年に対し、人間の暮らしに「水」がどのような影響を与えるのかを学ぶ河川教育・水防防災教育の機会を設け、地域児童への指導ができる青少年を育成する。この活動により、青少年の意識が向上し、青少年が地域に啓発することで、住民の意識を変える。

【活動内容】

市内の高校で専門家指導（干潟・生きもの・野鳥・植物・水質・マイクロプラスチックごみ問題・水の歴史・水防災など）の座学と体験授業（低生生物観察会・野鳥観察会・植物観察会・身近な河川の水質調査・干潟の歴史歩きなど）を行う機会を設け、受講した高校生が児童への体験授業を実践的にできるよう機会を与える。それらを体験した高校生が自ら「青少年八代チーム」発足させる。「青少年八代チーム」の企画・運営（zoom+会場）は定期的に行い、2022年開催予定のアジア水サミットのテントブースや高校生の発表の場で発言ができるような人材育成を行っていく。年度末には、市民啓発として1年間の「青少年水サミット in 八代」を青少年が自ら企画し、官・民・産・学共同体制で行い、これらの機会を通して、次の世代への継承し、継続的に次世代に繋げていく基盤活動を作ることを目指す活動。

【実績】

- ・市内の高校で専門家指導（干潟・生きもの・野鳥・植物・水質・マイクロプラスチックごみ問題・水の歴史・水防災など）の座学と体験授業（低生生物観察会・野鳥観察会・植物観察会・身近な河川の水質調査・干潟の歴史歩きなど）を行うことができた。この企画を地元高校でも本授業の中で実施できるようにと、恒例の出前授業が5コマ、3部門を依頼されるようになった。
- ・受講した高校生が児童への体験授業を実践的にできるよう機会を与えたかったが、新型コロナの影響で、「田んぼの生きもの調査」しかできなかった。
- ・「青少年八代チーム」を7月10日に説明会を開催し、発足させた。その企画後に、友達同士で参加申し込みが多く、最終的に50人の登録数となった。
- ・「青少年八代チーム」の企画・運営（zoom+会場）は定期的に行い、オンラインで、日本国中からの参加者で好評だった。
- ・2022年4月23日24日開催のアジア水サミットでは、国土交通省八代河川国道事務所のテントブースで「エコユース八代」の発表の場で発言ができるようになり、その資料（パネルやパンフレット）作りにオンライン会議などで活躍中。
- ・1年間の「青少年水サミット in 八代」を青少年が自ら企画準備し、開催できた。
- ・アジア太平洋水サミット高校生動画応募に意欲的に動画を2作品完成させた。

【具体的な成果】

- ・ 専門家による出前授業やWS, オンライン会議など28回
また、「アジア太平洋水サミットに向けた高校生動画応募」の作成に半年以上、取材や編集に時間をかけて作り上げた。
- ・ 青少年八代チーム 会員50人
- ・ 青少年水サミット2021 in 八代 参加者100人
- ・ 成果発表会 参加者40人
- ・ 取材（熊日日新聞 6回）・テレビ2回
- ・ 体験型学習会参加者 合計1,962人

【連携組織】

- 1) 青少年育成のための授業及び指導・大学教授（熊本大学・崇城大学・熊本高専八代キャンパス・長崎大学・九州大学など）
- 2) 青少年育成授業の受入れとサポート・八代市内の高校・高専（熊本高専八代キャンパス・八代高校・八代工業高校（定時・夜学）・八代農業高校・八代東高校・八代清流高校・秀岳館高校・八代白百合学園高校の8校）・市内の小学校児童
- 3) 青少年育成の企画・運営サポート・国土交通省九州整備局・八代河川国道事務所・熊本県環境立県推進課・水保全課・農林水産課・八代市環境課・土木課・農林水産課 4) 連携団体ラムサールネットワーク日本・八代野鳥愛好会・八代植物友の会・八代青年会議所

【計画の妥当性】

- ・ 今年度は、新型コロナ禍で余儀なくされた様々な体験活動だったが、やはり顔を見ながら会議打合せができないことが一番の苦勞だった。
- ・ オンラインによる講演会、学習会などは主流になりつつあり、2020年に開催した全国では珍しい、オンラインによる「青少年水サミット in 八代」の開催で自信をつけ、「エコユース八代」定例会及び、海外ユースとの情報交換オンライン会議も可能になっている。高校側にもその旨を伝え、今後は体験型学習に加え、オンライン講演会・討論会を、「青少年八代チーム」の企画・運営（zoom+会場）として定期的に行い、日本国中からの参加者も求める。
- ・ 青少年チーム「エコユース八代」が発足し、現在50名がメンバー登録し、1年間の「青少年水サミット in 八代」を青少年が自ら企画準備、開催できた。
- ・ アジア太平洋水サミット高校生動画応募に意欲的に動画を2作品完成させ、エコユース八代と共同で作成した「エコユース八代パンフレット」を持って八代市長を訪問し、「アジア太平洋水サミット」での発表の場の紹介をできることになった。
- ・ 2022年4月23日24日開催のアジア水サミットでは、国土交通省八代河川国道事務所のテントブースで「エコユース八代」発表の場で発言ができ、その資料作りにオンライン会議で活躍中。

【反省点・改善】

新型コロナウイルス・オミクロンウイルスなど、官公庁である行政の立場で会場の使用ができなくなり、延期になる企画もあり、講師陣が県外から八代に招聘できなくなり、中止にならざるをえなかった。また、会場を多数借りて「青少年水サミット」を行うつもりだったが、スタッフだけの会場で操作する「オンラインハイブリッド型」に切り替えたが、なかなか操作や

突然の資料提供など、機械操作に詳しい専門家が必要だと感じた。またその記録を編集し、「エコユース八代」での振り返り学習会をしたが、その編集作業も専門家の力が必要であり、インターネットや、PCの勉強をしなくてはならない。また、PCの操作ができない高齢者へ、会場での参加（提供の場）が必要だと感じる。

【改善対策】

- ・機械への操作や完成した記録を会場での振り返り学習会を行う。
- ・市民への情報提供をポスターや広報誌を利用して見学（参加）を求め、青少年の学んだことの発表会をご覧いただく。（対面の重要さ）
- ・様々な高校からの参加であり、全員がそろうことも困難なうえに会場での会議もままならないので、夜のオンライン会議をしつつ、年に数回は対面で企画を進めていく。

月	日	内 容
4	8	年間計画会議（対面）
	20	官公庁挨拶（年間計画の案内）訪問
	21	青少年「エコユース八代」資料作成・案内作業
	28	教育員会挨拶訪問
5	6	市内高校（6校）説明・案内訪問
	19	市内高校（7校）説明・案内訪問
	27	青年会議所講演（依頼）
	30	青年会議所への講演
6	3	市内高校（7校）説明・案内訪問（3日・10日・16日・18日・23日）
	5	オンライン会議
	29	国土交通省打ち合わせ会議
7	10	「エコユース八代」発足説明会・講演会
	17	「エコユース八代」第1企画 干潟・塩生観察会
	24	「エコユース八代」第2企画 八代海河川・浜辺の大そうじ大会開催
	31	水フォーラム熊本：熊大WS「エコユース八代」として参加
8	7	「エコユース八代」第3企画 田んぼの生きもの調査
	8	「エコユース八代」第4企画 生物多様性・アジア太平洋水サミットワークショップ
	14	水フォーラム熊本：熊大WS「エコユース八代」として参加
	17	「エコユース八代」と海外のユース（YEW）との交流オンライン会議
9	11	「エコユース八代」と海外のユース（YEW）との交流会議
	22	オンライン会議（9月は3回）
	26	水の歴史散策学習会
	27	青少年水サミット2021 in 八代講師陣とのオンライン打ち合わせ会議
10	9	「エコユース八代」と海外のユース（YEW）との交流会議
	10	ユース水フォーラム熊本動画作成（以後数日活動）
	24	青少年水サミット2021 in 八代
	31	歩いて学ぶ防災マップ体験
11	3	水の歴史・防災振り返り学習講演会とws
	5	図書館講演会・パネル展示作業
	20	ユース水フォーラム熊本動画作成オンライン（20日・27日）

	28	河口域・汽水域の干潟とヨシ原再生、八の字堰の再生講演会
1 2	10	オンライン会議
	12	「エコユース八代」と海外のユース (YEW) との交流会議
	18	野鳥観察会と水と生きもの学習会開催
	30	ユース水フォーラム熊本動画作成 (半年間)
1	3	ユース水フォーラム熊本動画変更作成
	13	ユース水フォーラム熊本動画変更オンライン作成
	15	「エコユース八代」と海外のユース (YEW) との交流会議・
	29	「エコユース八代」と海外のユース (YEW) との交流会議 (16 日・23 日・26 日)
2		1 2 月～小冊子作成・会議 (約 6 0 日)
3	5	エコユース八代成果発表会準備
	6	エコユース八代成果発表会
		アジア太平洋水サミットパネル・冊子作業 ・発表練習

上記参加者の感想は最後のページ (エクセル表) でご覧ください。

【当初目標の達成度】

- ・ 専門家の体験型学習会・散策会・ワークショップ合計 11 企画に加え、海外のユースとの情報交換オンライン会議を合わせ、年間 28 回の開催、**参加者 1962 人**。
- ・ 市内の高校で専門家指導 (干潟・生きもの・野鳥・植物・水質・マイクロプラスチックごみ問題・水の歴史・水防災など) の座学と体験授業 (低生生物観察会・野鳥観察会・植物観察会・身近な河川の水質調査・干潟の歴史歩きなど) を開催。この企画を地元高校でも本授業の中で実施できるようにと、八代高校では、恒例の出前授業が 5 コマ、3 部門を依頼されるようになった。

【助成事業の効果】

- ・ 青少年が地域の体験学習会に参加したことで、以前は「地元にはなにもない。」と発言したメンバーたちが、成果発表会では、「初めて地域の歴史や水についての歴史や文化、また防災などを体験して見聞きし、理解できたので、八代市には誇れるものがたくさんあり、好きになった。」と発表したことを目標に 1 歩近づいたと思う。**すべての生活環境が備わっていないなければならないこと、「水」に関しても、全部門が関連し、SDG s をモーラしていることだと理解してくれたことから、この企画は大成功したと考える。**
- ・ 「水」を基本に「命を育む水」「命を支える水」「命を奪う水」を掲げ、環境汚染が人間の暮らしにどのような影響を与えるのかを学ぶ機会を設け、青少年が地域に啓発することで、住民の意識を変える。こうした活動により、水の持続的利活用に関する課題の解決に向けた青少年発の意識が向上、問題意識が地域から世界へ、現世代から次世代へと啓発活動の基盤となる。
- ・ この企画で学んだことの、地域の良さ悪さと改善法なども認識できるようになり、将来的には地域環境保全を自ら学び、次に伝授していく人材を育成していけるだろう。
- ・ 当会の 21 年間のネットワークからの日本国中の各分野の専門家による講演会は話題となり、今後の進学や就職において、青少年が現時点 (高校生の時) でいち早くその専門家からのノウハウを取得でき、将来の選択種が理解できるように進めていく。

【河川管理者等との連携状況】

- ・ 当会は、管理者である国土交通省八代河川国道事務所とは、平成 26 年 3 月には球磨川水系で初めての河川協力団体に指定され、河川活動では毎月会合を開催しながら進めている。青少年水サミット 2021 in 八代や図書館講演会、また高校での共同授業などで、球磨川災害現状や防災についてまた八の字堰の再建の歴史を伝えることができ、高校生や市民にもとても好評で、Win Win の成果となった。

活動詳細

【1】 2021年7月10日

「エコユース八代」発足説明会とアジア太平洋水サミット」講演会
講師はアジア太平洋水サミット」の実行委員長である、熊本大学教授：渡邊教授と理事の熊本大学田中准教授、また世界のフォーラムに参加されているラムサール日本の事務局、後藤氏に講演をお願いし、エコユース八代の参加を求めた。結果、35人の申し込みがあった。



市内6つの高校から有志の高校生が参加



募集・体験プログラムポスターを掲示

【2】 2021年7月17日

「エコユース八代の初めての企画「干潟観察・塩生観察会」。当日が台風のような大雨だったが、熊本大学の逸見教授が「実施しましょう」ということで開催した。



雨の中、希少種を探す高校生



国土交通省八代河川事務所の干潟再生説明

【3】 2021年7月24日

エコユース八代第2企画「八代海・河川浜辺の大そうじ大会」では、ユースメンバーがスタッフとして受付や交通整理など大活躍だった。市内の高校生が700人参加した。集めたごみは分別し市のセンターに持ち込んだ。



エコユース八代初ボランティア活動



市内の高校生有志 720 人が参加



エコユース八代の受付・案内役

八代の海きれいに 高校生や市民ら700人が汗
熊本日日新聞 | 2021年8月04日 21:04

熊本県八代市益根「そぞろ」町の神尾川河口や八代湾の海岸で、「河川・浜辺の大そうじ大会」があり、地元高校生や市民ら約700人が、漂着したごみ拾いや流木撤去に汗を流した。

環境保全に取り組む同市の市民団体「次世代のためにがんばる会」（松澤けい代表）が、市内の高校に協力を呼び掛けて毎年開催しており、17回目。

7月24日であり、参加者は河口から海岸にかけての約500メートルで、流れ着いたペットボトルやアルミ缶、プラスチックトレーの破片などを拾い集めた。流木も多く、列をつくり手渡しして運び出した。

八代高1年の深澤日向（ひなた）さんは「ウミカメがポリ袋をクラグと間違えて食べると聞いた。マイバッグを使うなどしてプラごみを減らしたい」と話した。（木村彰彦）

八代湾の海岸で、プラスチックごみなどを拾い集める高校生たち＝八代市

地元紙「熊本日日新聞」に掲載

【4】2021/8/7

エコユース八代体験学習第3企画「田んぼの生きもの調査」を開催。エコユース八代メンバーも生きものの多さに驚いていた。田んぼ近くに飛来する野鳥のことを高野先生に、完全無農薬で肥料になる「光合成菌」について崇城大学宮坂教授に講演をいただいた。



参加者記念撮影



高野先生野鳥の説明



宮坂先生の光合成菌説明

【5】2021/8/8

「エコユース八代」企画3つの振り返り学習会としての企画4「生物多様性・太平洋水サミット」ワークショップの開催。新型コロナのせいで、講師の2人の先生にはオンラインで講演をいただいたその時の会場にいる高校生と記念撮影をした。



オンライン会場で全員撮影



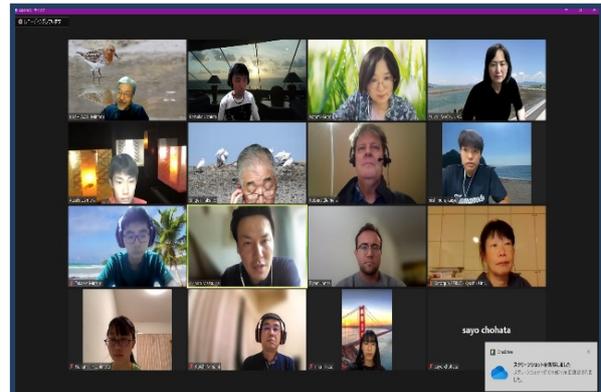
講師の先生方

【6】2021/8/17

海外のユースとの情報交換オンライン会議開催 世界中で湿地保全活動をしているユースメンバーへ、エコユース八代メンバーが、八代市の球磨川河口の干潟のことを英語で情報を提供した。

海外ユースとの情報交換会も今年度、8回も開催したことで、英語力も上手になっている。アジア太平洋水サミットでの発表内容など、共有した情報を取得できる。

次年度も引き続き情報交換をしていく予定。



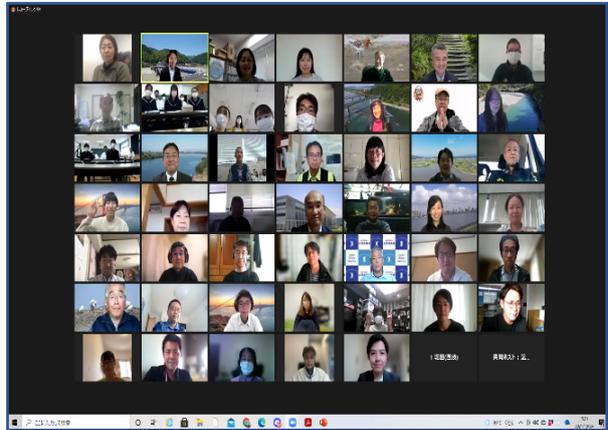
【7】2022/9/26

エコユース八代企画5「水の歴史散策学習会」開催。八代市内の日本遺産登録に指定された箇所個所を専門家にその場で説明を頂き散策した。エコユース八代メンバーが一番喜んだ企画だった。現地での初めて聞く内容や、干拓地の造り方の模型を使用した説明には感激していた。「水の歴史散策学習会」に合わせ、「アジア太平洋水サミット」に向けた高校生動画募集に挑戦した。ユース水フォーラムくまとのYoutubeで掲載されている。



【8】 2022/10/24

「水サミット2021 in 八代」の講師陣との企画打ち合わせ会議もオンラインで数回開催。「水サミット2021 in 八代」にエコユース八代メンバーも参加した。オンラインのいい所は、講師陣が日本各地から招聘できることであり、高校生も、その各高校からの先生の見学参加も多かった。



【9】 10月31日

「歩いて学ぶ防災マップ」エコユース八代第7企画。講師は元国土交通省八代河川国道事務副所長の川口氏お願いしたことで、参加したエコユース八代メンバーが、教科書や学校では学べないことに驚いていた。非難箇所や道路の高低差、また河川の場所の造り方から見聞きした。地元の方々に被害時の内容を聞きながら散策したので、非難の大切さを学んでいた。



【10】11月3日

エコユース八代第8企画 「水の歴史散策学習会と青少年水サミット（防災）と、歩いて学ぶ防災マップ、3つの企画の振り返り学習講演会。 初めて聞く内容にエコユース八代メンバーも感心していた。



【11】11月28日（日）

エコユース八代第9企画

国土交通省八代河川国道事務所が進める干潟再生など、干潟観察などを踏まえた内容。会場は市立図書館で開催した。球磨川河口へたまる土砂を利用した再生地の利用で、希少種や野鳥の飛来が増加していることに感動した。

【12】12月18日（土）

前座、エコユース八代第9企画 国土交通省八代河川国道事務所が進める干潟再生など、干潟観察と、希少種のクロツラヘラサギの野鳥を実際に観察会。



「水といきもの学習会」 講師は九大の清野先生と、ラムサールネットワークのプロを招聘しての企画で、高校生も一般成人も多かった。ただ、新型コロナの影響で、バスも感覚を明け、講演会も会場の距離を置いての開催。講師は九州大学の清野先生の講話に感想も好評だった。まとめ「干潟を守るためにはどうしたらいいか」を班に分かれておこなった。



【13】2022年3月6日

エコユース八代体験活動の成果発表会 オミクロンウイルスの蔓延防止がのため、高校生の当日キャンセルが5人も出てしまった。しかし、1年間の体験の内容と感想を発表した。この「エコユース八代」発足時に「八代はいい所ですか？好きですか？」の問いに、誰も手を上げなかったのに、子の発表会では、全員が「八代を好きになりました。誇れる八代です」と感動する発言が多く感激した。



エコユース八代体験活動の成果発表会第二部。コーディネーターに長崎大学の出水先生をお招きして、第1部の感想や、これからの展望をそれぞれが発言した。オンライン上でも「素晴らしい」とのチャットが多数届いた。掛け声「We Love YATSUSHIRO」



上記の内容を4月23日24日開催「アジア太平洋水サミット」で発表することになり、エコユース八代から17人が登壇する。

体験活動1年間の感想集

<p>・熊本の水は綺麗だということは知っていたが、ここまでめぐまれていたなんて思っていなかった。それだけ大事な水だから大事にしていきたい。</p> <p>・当たり前のことだと認識せずに世界中の人々が地球のために、次世代の子どもたちのために活動できることは誇りべきだと思う。</p> <p>・地球は人間だけのものではないから、他の生物と生きていくべき。生物多様性を大切に守ってきたい。</p>
<p>・去年の豪雨によって川が木やがれきなどによって汚されてしまったのを覚えているので、豪雨の影響を堤防を作り、無限ではない水の保全が出来たらいいなと思いました。</p> <p>・普段当たり前だと思ってしまう水の認識を「大切な水」に変えて生活していきたいと思いました。</p> <p>・自分たちの次の世代の人たちのためにも「水を大切に使う」ということを意識していきたいです。</p>
<p>八代は球磨川や有明海といった水にかかわることができる場所がたくさんあって、とてもいい場所だと思っています。そして、そこに生息する生き物や植物にたくさん触れられるのでとても誇りに思っています。</p>
<p>今まで身近にある八代海や球磨川について学んだことがなかったので、これから ECO ユース八代を通して様々なことを学べるのが楽しみです。八代のことについて地元に住んでいる自分がしっかり学び、八代海や球磨川のことを体験して、水や生き物のことを色んな人に伝えたいと思います。ほとんど水のこと知識がない状態ですが、これから体験を通し、たくさんのことを学んでいきたいです。</p>
<p>学校の探究活動の時間でも海のことや生物について考えて行くから、この活動のことも活かして行けたらいいなと思った。サミットでもし何かできるとしたら、積極的に参加していきたいし、企画される活動にも全力で取り組んでいきたいと思った。</p>
<p>水は自分たちの生活には当たり前存在していますが、その水は自然だけではなく人間を含めた全ての生き物にとって不可欠な物だと思っています。</p>
<p>私は今、「地域ビジネス」という授業を学校で学んでいます。その中で、八代を活性化させるため様々な活動を行っています。PR 動画を作ったり旅行プランを作成したり、高校生ならではのアイデアで活性化し、今回の講演で学んだことをもっと活かさないかと思っています。（また、石工を知ってもらうために、実際に現地に足を運び、石工にちなんだ商品開発なども行っています。）とてもいい経験ができて良かったです。</p>
<p>たくさん的高校生が参加していること、素晴らしいと思いました。</p> <p>一緒にお話を伺いながら、初めて知ることがたくさんありました。国際会議や世界に発信という自分とは別世界のもの、なんて思っていたのですが、一歩ふみ出せばそのチャンスはつかめるものだと感じました。ここにいる高校生の皆さんが体験を通して、考えたこと・伝えたいことを自信をもって伝える姿をぜひ見たいと思いますし、応援したいと思います。</p> <p>地域のために、次世代のために、長年にわたって尽力されている会のみなさんを尊敬します。本日は貴重な場を提供いただきありがとうございます。また、ぜひ参加したいと思います。娘も連れてきたいです！</p>
<p>・球磨川にすむ生き物たちが、くらしやすい環境にするにはどうすればいいか、これからの活動を通して考えていきたい。</p>
<p>これ以上、生き物が住む場所をなくさないように環境を守っていきたい。世界で問題となっている水環境悪化について、解決策を早く考え、八代も水、川、海を大切に、もっと豊かにしたい。</p>
<p>水は私たち人間が生きるために必要不可欠なもので、海や川からその水を使わせてもらっているため、川や海の環境を整えておく義務があるなど、今回の講演で改めて考えることができた。</p>

<p>熊本では豪雨災害もあって、八代の河川敷もだんだん直ってきていて、その豪雨災害が生態系にどう影響を与えたのかが気になるなと思いました。八代の水や生き物については全然知らないの、そういうことも知っていききたいと思いました。7月末にある清掃ボランティアに参加する予定なので、そこでの活動もしっかりと行っていきます。</p>
<p>・球磨川などは八代市民として、本当に全国に誇れるものだと思うので、これからも保全などについて、自分にもできるようなことがあれば積極的にやっていきたいです。</p>
<p>八代に住んでいて思ったのが、よく川が氾濫するなあとと思いました。</p>
<p>・球磨川の流れるのを見るのが好きだから、自然の美しさを保っていききたい。そのために、積極的に掃除や環境の保全に取り組んでいきたい。 ・そこに住む生物たちの過ごしやすい環境づくりも大事だと思った。</p>
<p>最初に河川のところに不法投棄がたくさんあると聞き、八代でもそんなにたくさんあるならきっと世界中の海のごみってすごい量で、地球の環境に大きな影響を及ぼすものも当然なんだと思いました。今日見た田んぼのような自然あふれる姿を今後も守っていければ良いと思います。</p>
<p>ごみの不法投棄はよくないと思いました。田んぼには思っていたよりもたくさんの生き物がいて、驚きました。きれいな海を維持したいと思いました。</p>
<p>川や海を人間にとっても、魚や鳥などの自然の生き物にとっても害がなく、利用できるような環境にしていくべきだと思う。</p>
<p>干潟の生物も観察してみたいなと思った。こういう田んぼがもっと増えたらいいなと思った。</p>
<p>今後、前よりもきれいな川になるよう頑張りたい。</p>
<p>今の状態を継続させていきたいと思った。</p>
<p>今のきれいな水や生き物を守っていききたいと思った。</p>
<p>・自然の生態系を維持していくために工夫を凝らしていき、生き物たちを守っていききたい。</p>
<p>干潟をこれから守り、よくしていけてほしいなと思います。八代には貴重な生きものがたくさんいると知ったので、八代の環境について学びたいです。あと、生き物について知っていることが少ないので名前などたくさん覚えたいです。</p>
<p>今回のワークショップで、水をきれいにするためには川や海の水質を直接改善するだけではなく、光合成細菌だったり田んぼにいる生き物も間接的に関わっていて、きれいな水のおかげで塩生植物や干潟の生き物、野鳥などが暮らしている。</p>
<p>温暖化や災害などにより生物たちの数が減り続けている現状に対して自分たちにはどのような事ができるのか考えていきたい。</p>
<p>未来をよりよくするために私たちが積極的に行動していきたいと思います。</p>
<p>私たち若者がこのような事に興味を持ち、自分自身の地球を守っていく一助になればと思います。</p>
<p>自分の毎日の生活でも水のことについて気をつけていきたい。</p>
<p>・クロツラヘラサギという生き物はなかなか見れない鳥なのに八代で見れたのは、八代の海などがとても綺麗ということなので、すごいと思った。 ・ECO youth の活動はとてつもない意味のある活動だと改めて感じた。 ・地域で活動していることが、国際的にもつながっていると知って驚いた。 ・光合成細菌は、水田のよくないガスをなくしてくれる。 ・干潟や海は守っていただけでなくて、今の状態より良くできると分かったから私も頑張っていきたい。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・球磨川や干潟を守るということは、そこに生息するような生物を守ることにつながるのだと思った。 ・地域で行う活動が世界でも報告できることなのだと思った。人間の生活を見直すことがその他の生態系を保全することのなると知った。 ・菌やカビの中にも自然や人間にとっても良いものや悪いものがあることを学んだ。 ・硫酸イオンがあるとメタンが出にくい。 ・5668の生物が田んぼに生息していることは、すごい！ ⇒米を主食とする日本人にとって田んぼやその周囲に棲む生物を守ることは大切だと思った。 ⇒農薬の減少を期待 ⇒土づくり
<p>今日は、また新たに八代海のことや鳥、田んぼのことなどを知ることができ、とても良い機会になりました。自分でも取り組めることがあると思うので、環境の保全に少しでも取り組めるようになりたいと思います。</p>
<p>高野先生の話聞いて身近な場所に貴重な野鳥がたくさんいることを初めて知りました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報、知識が必要なので、教育の重要性を改めて感じました。
<p>八代海や球磨川にもプラスチックごみなどが捨てられて生き物が生きづらい環境や、人間の生活水を優先して使ってしまう川が生きづらい環境があって、大変だなと思う。</p>
<p>八代海や球磨川をもっときれいにして美しい自然を守ってみたいです。</p>
<p>教科書や学校で学んだことはあったのですが、干拓のことや樋門のことの目的などを初めて知りました。八代はすごい所だと思います。</p>
<p>日本遺産・石橋など、説明があつての見学会だったし、八代の歴史を知ることができて良かったです。まだ樋門についても詳しく調べてみたいと思います。</p>
<p>今まで普通に見ていた光景の中に関連するものや歴史と深いつながりがあるものがあり、そういうものを見つけることもおもしろいなと思った。</p>
<p>私は干拓地に住んでおり、水関係の防災は小学校からやっているので大丈夫だと思っていましたが、今日のお話を聞いて、川に設置されているカメラを見たりしたことがなかったり、防災マップの確認を最近していなかったりと、自分が防災についてあまり考えていないということが分かりました。今日教えて頂いたホームページなどを使い、家で色々なことに取り組みたいと思いました。</p>
<p>八代海や球磨川、水無川が氾濫した場合などを考えて、避難経路を確認したり家を建てる場所を選択したりしたい。</p>
<p>海や川、生き物を守ることも大切だが、私たちの身の回りの防災にしっかり取り組むことも大切。どちらも、互いに配慮しながら進めていくといいと思います。</p>
<p>身近なものだと捉えていても、まだまだ知らないことだらけで、知ることから始めようと思いました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・川はどんなにコントロールしても自然のものなので、絶対に洪水いや氾濫を起こすので、自分たちがどれだけ災害に備えているかで、生きるか死ぬかが変わると思っています。
<p>生活用水を大事に使い、水を大切にしたい。川をきれいにするように努力したい。</p>
<p>災害についても地域的な特徴を考えて行かなければ・・・との思い</p>
<p>自分の家の位置をもっと詳しく知る必要があることの大切さを身に染みて痛感しました。</p>
<p>これからも、この活動が長く続くこと祈念しています。</p>
<p>普段何気なく使っているライフラインなどは、誰かの知恵や努力によって成り立っているものだ改めて考えさせられました。</p>

土木はただ必要だからいろいろ作っていると思っていたけど、それだけではなく優しさや将来への想いもたくさん詰まっていると知って、深いなと思った。八代の良いところをたくさん知って、今日の講師のみなさまのように八代で生まれて八代のために活動する人が増えればいいなと思った。9月26日の振り返りもでき、とても勉強になった。

今まで自分が知らなかった八代の歴史や出来事を数多く知ることができたので、とてもよかった。

私は熊本に帰って来て20年位になりますが、あまり熊本のいい所が見えて来ない状況です。今回、川、水について、防災について伺って、少し興味が出そうです。

1.石橋施工時、コンクリート使用でうえがわ上側への破壊防止を考えなかったのは何故ですか？（現在、県内で破壊している石橋もある）

2.堤防の両側に強度の差があるのはなぜですか？

内容が分かり易く説明頂きありがとうございました。娘が土木関係の仕事をしており、帰省時に話して楽しみたいです。

日頃聴くことが出来ない幅広い土木に関しての講義を受けて、とても勉強になりました。ありがとうございます。

水についての学習イベントに参加するようになって数年。お蔭様で、八代の事を今まで考えようと思わなかったことが、（その場では理解、帰ったら忘れること大ですが・・・）その近辺を通る毎にちよつとでもですが立ち止まるようになったかなと思います。今回は、色々と大切な大事なことを学ぶ事が出来ましたが、松永さんの自然には勝てないが、でも負けたくはないという文言が印象的でした。一緒に学習出来たことを嬉しく思います。係の皆さん、おつかれさまでした。

まちづくり協議会等でも松永昭吾様の講演会を開催出来たらいいと思いました。多くの市民に今日のような話を聞いてもらいたい。

- ・水道水の大切さや水をめぐる事情や紛争等を知る事ができ、非常に為になりました。
- ・世界の水道の水準は、日本の技術が活用されている事も知ることができた。
- ・東日本大震災でも知恵をしばって工夫して、街づくりをした事も初めて知りました。（譜代水門、吉浜）
- ・八代の干拓地は、何年前から、どこから（付近迄）干拓して何 ha ぐらいあるのか。

W.K Burton 氏の事を調べてみようと思いました。

- ・もっと歴史を知り、反省を生かす。

水や生き物と私たちは関係が深いので、生き物たちの生活を豊かにすることによって、めぐりめぐって自分たちの生活を豊かにしていくんだなと思いました。今、大人の方たちが僕たち（次世代）のために活動してくださっているの、僕たちもこの意志をつないでいきたいと思いました。

守っていかなければならないと思いました。貴重な体験をさせていただいたので、今回学んだことをもとに、八代海、球磨川の良さ、自然の大切さをもっと広めて、自分たちができることから少しずつ取り組んでいこうと思います。次世代を担う私たちがもっと興味関心を持ち、自ら積極的に活動することが一番の近道かなと思った。

（よりよい自然環境をつくり、保全するために）

身近な場所で干潟の再生が行われていることを初めて知りました。この状況を持続的なものにしていきたいと思ひます。

実際、学校の探究の時間や、このような学習会があるまで、生き物の数が減少している状態や球磨川は世界に誇っていくことができるような場所であることを知らなかったの、これから多くの人に協力してもらうには、もっと知名度を上げるべきだと思う。（選択制の探究の時間でなく、全員参加型の授業など）

<p>熊本市内で青少年育成協議会の代表を務めており、高校生を巻き込んだ活動が大変参考になりました。白川、有明海を守る活動をしていきたいと思います。お弁当ごちそうさまでした。美味しかったです。</p>
<p>八代には球磨川があることは、当たり前だったけれど、今日の見学会で球磨川にはすごい干潟があるのだと驚きました。こんなにたくさんの鳥や生き物がいるとは知らなかったです。もっと知りたいと思います。せっかくなので、また、クロツラヘラサギを見にいこうと思います。これからもずっと残って欲しい場所だと思いました。</p>
<p>日本でも有数の良い環境があるので、これを未来にどう残していくは、やはり自分たちの世代が考えていかないといけないので、これからもこういったイベントには積極的に参加していきたいと思います。</p>
<p>通勤族で現在、八代在住です。自然に恵まれた素晴らしい土地です。普段は、山の方に行く事（トレイルニング）が多いですが、今回は海（川）の方で新鮮でした。クロツラヘラサギも見れて良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>ごみを捨てない事</p>
<p>いろいろな世代の方の経験豊かなお話を聞くのは本当に意味のある事だと思いました。まだまだ知らない八代の良さをしっかりと伝え学んで行きたいと思いました。本当にありがとうございました。これからもよろしく願います。</p>
<p>阿蘇～八代海のつながりや歴史・文化の重要性をもっと地域や日本・世界の人々に知っていただけるようにしたい。</p>
<p>河口にまで外来種のブラックバスが入って来ているのでどうにかしたい。</p>
<p>地球温暖化の影響で普段見かけない魚や、災害の影響で地形が大きく変わってしまい魚がいなくなっていることが多くあった。</p> <p>八代の生き物がこのように世界とつながっているの、八代の生き物以外のことも世界に広がっていくといいと思いました。</p>
<p>自分たちやそこに住む人たちと生物や環境を守っていきたい。</p>
<p>まだまだ知らない事が多かったの、これからもっと知ってきたい。</p>
<p>今回のワークショップと観察会に参加して、鳥はくちばしの形や長さを変えたりすることでさまざまな鳥がいる中、エサの取り合いにならないようにして、共存を可能にしていることを知って、鳥にできるのなら、人も干潟、鳥たちと共存していけるのではないかと思います。八代の干潟が、ラムサールに登録できない理由の1つに海の近くの農家さんたちの反対があると聞いたので、鳥のように人間が変わる、人間が動くことで、自然と良い関係が築けるのかなと思いました。</p>
<p>私は魚釣りを通して、八代にはどのような生物が生息しているのかある程度知っていたつもりでしたが、渡り鳥のようにとても興味深い生物たちがいるのだと分かりました。生物を保護していくことは、人間が八代・地球ずっと暮らしていくことにつながる。改めて環境保全の必要性を感じたので、環境に配慮して生活をしていきたいです。</p>
<p>ごみなどが多くて、それを鳥などが食べてしまい死んでしまうことがある。とても、見聞きするだけでショックです。</p>
<p>自然を守ることで、自分自身の心も守れる気がする。まさに川とは、自分の心を映したものである。</p>
<p>今もごみなどで球磨川が汚染されて、魚などが死んでしまったりしているので、今回のようなごみ拾いのイベントがあるのは、とても良いなと思いました。また、このようなイベントに行ってみたいです。</p>

球磨川は、思っていた以上にごみが多くて、でも今回のボランティアなのが有ると、もっとごみが減ると思うので、これからもっとこのボランティアを増やしていきたいと思いました。

球磨川は、私たちの近くにあるので、眺めていて、きれいだなと思う姿であって欲しいです。
魚や鳥たちにとっても安全な場所であって欲しいです。

球磨川を毎日見てて、たまにごみらしきものが流れていたりして、誰がこんな事をしたんだろうと思う時が有ります。こういう人が、少なくなればいいなと思っています。

最近ごみが流れていたり、水面に何かが浮いていたりして、きれいとは言えない状態なので、市全体でもっといろいろやったりして、きれいになればいいと思う。

私の小さい頃から不法投棄がずっとあったので、地区全体でごみのことは、取り組みべきだと思います。

今回ボランティアに参加して、このような活動をされていることを初めて知りました。なので、これからはは、このような活動に沢山参加し、球磨川をきれいにしていきたいなと思いました。

ごみを拾って、きれいになって行くのが嬉しかったので、また参加したいです。

水面だけを見るときれいに見えるけど、水の中や河口域は、ごみなどが多く有るのを知って驚きました。

今よりももっとごみを減らせるように、自分自身でも心掛けていきたい。できれば、もっとボランティアの回数を増やした方が良く考えた。

汚れて、魚などの生物が傷付いているのは、とても悲しい事だと思います。だから、今回のようなイベントが有るのは、とても良い事だと思います。

初めて知ることばかりで、思わず誰かに話したくなるような活動でした。

この活動を通して、防災の大切さを改めて感じました。防災は私たちの命を災害から守る 1 番の近道だと思います。自然災害はいつどこで発生するか分からないので、家族としっかり話し合い、避難場所の確認や避難バッグの準備などをしようと思いました。

これからはマイ・タイムラインをたくさんの人に伝え、1 つでも多くの命が災害時に助かるように取り組んでいきたいです。

自然災害が起こった時に SNS の情報を鵜呑みにするのではなく国土交通省さんなど発信源がしっかりとした情報を信頼して行動することが大事だと学びました。

今回学んだことをこれからの生活に活かし、自分の身をしっかりと守っていききたいです！

ヨシ原に実際に入って、間近でたくさんの塩生植物を観察したり、生き物を観察したりしたことは初めてだったので、新鮮で面白かったです。普通の植物は塩分濃度が高いと育たないのに、塩生植物は逆に塩分がないとうまく育たないという特徴がとても面白いなと思いました。

豊かな生態系が守られるためには、ヨシ原が必要なのだと思いました。干潟だけではなく、周辺の環境も大事だということが分かりました。

私は初めて塩性湿地というものがあり、そこにしか生息しない植物や生物がいるのだということを知りました。実物を観察しながらどういう特徴があるのかなどの解説を聞くことができたのでわかりやすかったし、新しいことをたくさん知れたので良かったです。

一日を通して、私はまだまだ地元のことを知らなかったことに気づきました。

こんなにも素晴らしい石工(遺産)があるこの八代の方が更に好きになりました。私以外にも知らない人は大勢いるのではないかなと思うので、どうかして多くの人に知ってもらいたいです。今回のような機会を小学生や中学生にも与えてあげたいです。

今までは通り過ぎていて気づくことが無かったので、みんながすごい場所なんだということを知り、大切に残さ

れていくことを願います。

川や海にゴミが溜まってしまい、生き物が死んでしまったり、渡り鳥が飛来できなくなってしまうことを知りました。

このような問題に影響のある私たち高校生が真剣に向き合い、呼びかけをしてゴミを少しずつ減らしていきたいと思えます。

楽しそうなイベントを多数開催しているところが多く、幅広い年齢層の人に干潟をもっと知ってもらえそうなたくさん工夫があって、

すごいなと思いました。

清野先生は、アジアの視点でのお話だったので少し私には難しかったです、その難しい問題を私たちは考えていかなければならないと感じたので、干潟の生き物たちの大切さを学び、エコユースの活動を頑張ろうと思いました。

私が、お話を聞いて特に衝撃を受けたのは「皮の水を溢れさせてもいい」という考えでした。

田んぼダムやレインガーデンを作り、意図的に川以外の場所に水を溢れさせることで環境を守りながら安心安全なまちづくりをすることができると知り、被害も減らす取り組みは一つだけではないと気付かされました。

この講座で防災について新しい視点を持つことができたので、これからの活動に活かしていきたいです。

これからの世代である私たちが行なっていかなければならないことなど深く考えることができました。これから先、環境問題については他人事だと思わず考えていき、自分が出来ることから実行に移すといったことができるように経験を積んでいきたいと思いました。

この学習会を通して、八代海における野鳥を守ろうとする、地域をあげての継続的な取り組みは見事なものだと思い、次世代を担う私たちが継承していきたいと思いました。また、クロツラヘラサギを守るため、生息地の情報共有を東南アジアの国々の研究者や NGO などの組織を通しての活動はある種の国際協力であるのかなと考えました。

全体を通して、私たちに質問をされたり、逆に私たちから質問をしりと積極的に学べたと思えます。活気のある雰囲気、高校生も地域の大人の方たちも意欲的に話を聞いていたことからとても刺激を受けました。

渡り鳥にとって、干潟は重要なのか、干潟でどんなものを食べているかなど。

2012年7月に起きた九州北部豪雨は球磨川に住む生き物にどのような影響を与えましたか。

球磨川河口近くの生き物の数の変化について。また、減っている生き物たちは、なぜ減っているのか。

干潟を守るために自分が今できることは何ですか。

どうすればゴミがなくなるのか、どんな対策を行えばよいのか。ゴミがあることでどんな問題が出てくるのか。

放置竹林はどれくらいあるのか。また、増えるとどうなるのか。 竹の食べ方。おいしいのか。

海外の水防災と日本の水防災を比較して、よい点、悪い点を教えていただきたいです。

日本の防災は海外でどのように取り入れられているのか。

家ですぐできる防災〔あまり知られていないもの〕

様式 1 1

3.川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名		所属・助成事業者氏名		
2021-6111-003	「青少年に引き継ぐ河川教育活動」		次世代のためにがんばる会 代表 松浦 ゆかり		
	実施箇所	八代市内一円			
助成事業の主な実施箇所					
	大そうじ大会 720 人参加		青少年水サミット 2021		水の歴史散策学習会
					
	歩いて学ぶ防災マップ学習会		野鳥観察会・水の学習 WS		水の歴史振り返り講演会
					
	プロジェクト WET 講座		川の安全教室		成果発表会
河川基金ロゴ等表示状況写真	遠景		近景		
	 成果発表会で表彰状を展示				
延べ参加人数	一般		1,962 名	スタッフ・事務局	130 名
マスコミの反響	地元紙「熊日日新聞」に掲載・ケーブルテレビで放映された。				